組合員の實氣運が蘇して現實的傾向を加へ、從つて日本勞働組合會議に對する態度も、非常に理解と期待を持つて来た事、及び大會代議員數を約半減し、各種分科委員會を設け、從來のお祭氣分的雰圍を排して特殊部門に分つて夫々專門審議をなすの新制度を採用して来たのである。~~十日間に亘る全大會の狀況は~~

~~の次の通りである。~~
全國勞働組合同盟第四回全國大會狀況

日時　昭和八年十月十五日、十六日、十七日。
場所　神戸市神戸區榮町通丁目、朝日會堂。

社會政策時報原稿用紙